

中央区地域部会 令和5年度実績一覧

開催日時	参加者数	プログラム	概要
第1回 4月19日	51名	<p>○中央区地域部会の取り組み 多機能型事業所あずあいむ 片岡 正憲 様</p> <p>○令和4年度中央区地域部会年間活動報告 就労支援事業所 あかり家 妻倉 ゆかり 様 (中央区地域部会会長)</p>	<p>年度初めの開催のため、前半の「まなびば」は、前年度の活動報告と中央区地域部会についてあらためて説明を行い、後半の「しゃべりば」は、テーマにとらわれずに困りごとの相談や地域部会で取り組んでいきたいことなどについて意見交換を行った。</p>
第2回 5月17日	61名	<p>「事業所PR会」</p> <p>①アワーズワーク札幌中央 本間 宏輔 様 ②フロンティアリンク札幌キャリアセンター 内藤 大樹 様 ③多機能型事業所 ジョブベース・びすと 嶋野 凌 様</p>	<p>4月定例会のしゃべりばにおいて、会社の理念を浸透させていくのが難しいという意見があったことなどから、3カ所の事業所から事業所PRをしてもらい、その中で、理念や支援の考え方などをどう事業所内で伝えているのかについてもご説明いただいた。</p>
第3回 6月21日	50名	<p>「ピアサポーター、地域活動支援センターについて学ぼう」</p> <p>①地域活動支援センターについて 地域生活支援センターさっぽろ 長岡 裕美 様、 鈴木 智仁 様 (ピアスタッフ)</p> <p>②ピアサポーターの活動について 相談室ぼぼ 金田 博之 様</p>	<p>障がい当事者として自身の障がいや体験をもとに支援者として活躍している「ピアサポーター」、「ピアスタッフ」をお招きして、日頃の支援活動についてお話しいただいた。</p>
第4回 7月19日	71名	<p>「対象者理解における事例検討の活用」</p> <p>さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール (札幌市基幹相談支援センター) 主任相談支援専門員 赤杉 美香 様</p>	<p>これまでの定例会しゃべりばにおいて、「コミュニケーションがうまくとれない」、「本人の課題を捉えきれない」、「事例検討を行ってほしい」といった声が多く聞かれたことから、ワン・オールから講師をお招きし、対象者理解における事例検討の活用についてお話しいただいた。</p>
第5回 9月20日	71名	<p>「事例検討会」</p>	<p>7月定例会で学んだ事例検討の手法を用いて、実際に事例検討を行った。 当日は事務局において事例を2つ用意して、参加者を2グループに分けて実施。司会、板書は申込時に希望を確認し、希望者にも役割を担ってもらった。</p>
第6回 10月18日	46名	<p>「令和5年度しゃべりばinちゅうおう」</p>	<p>これまでの定例会しゃべりばにおいて、困りごとについて気軽に話せる場を求める声が多くあったことから、1時間半まるごと「しゃべりば」を行った。</p>
第7回 11月15日	43名	<p>「実践発表会」</p> <p>①放課後等デイサービスえりく NPO法人はる 代表 河西 良介 様 児童指導員 山口 健太 様</p> <p>②児童発達支援・放課後等デイサービス かわせみの森 一般社団法人 子供と青い空 理事 登山 詩織 様</p>	<p>これまでの定例会しゃべりばにおいて、他事業所で具体的にどんな支援をしているか知りたいといった声が多くあったことから、5月定例会のPR会と比べ、より具体的な支援について2カ所の事業所から発表いただいた。</p>
第8回 1月17日	65名	<p>「こんがらかったあり方を見直そう～コミュニケーション基本のき」</p> <p>コミュニケーション・ナビゲーター 姉帯 美和子 様</p>	<p>これまでの定例会において、利用者との接し方や事業所内における上司部下との接し方など、コミュニケーションにまつわる困りごとが多く聞かれたことから、コミュニケーションナビゲーターをお招きし、コミュニケーションの基本についてお話しいただいた。</p>
第9回 2月21日	77名	<p>「支援者のバーンアウト予防」</p> <p>医療法人北仁会 旭山病院 心理室 畠山 雪恵 様</p>	<p>これまでの定例会しゃべりばにおいて、時には利用者から厳しい言葉もあり精神的な負担となっていることや、研修や相談する機会を得られず支援者個人が抱え込むという状況を把握したことから、旭山病院から講師をお招きして、バーンアウト予防についてお話しいただいた。</p>
		<p>障害支援区分認定調査に関するアンケート調査 (令和5年8月)</p>	<p>札幌市では、令和4年度より障害支援区分認定調査を委託しているが、生活実態に変化が無いにもかかわらず、区分が下がるケースがあり、区内関係事業所あて実態把握を行った。調査結果に基づき整理した課題については、今後定例会のテーマとして具体化していく予定。</p>